

視聴覚教育

NO. 435

発行日
29. 10. 1

発行

岡崎市 A V L

編集

現職研修委員会
学習情報部

これ知ってる！？

タイムラプス撮影機能

植物の生長や星の動きなど、変化に時間がかかる現象を一定の間隔で撮影し、時間を凝縮して再生する機能。実際には感じる事が難しい穏やかな変化を分かりやすく表現できる。PC教室に導入されたカシオの教師用デジカメでもこの機能が使える。

視聴覚教育あれこれ

平成29年度岡崎市教育研究大会

九月五日（火）、新香山中学校で平成29年度岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院教授の大谷尚先生をお迎えし、「主体的・対話的で深い学びを実現し、情報社会をよりよく生きる資質・能力を育成する、視聴覚・情報教育を目指して」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。発表された十六点のリポートの内容を分類すると次のようになる。

- ① ICTの利用によって協働的な学びを活性化する実践（七点）
- ② プログラミング的思考の育成を
目指した実践（三点）
- ③ タブレットPCを効果的に活用
した実践（三点）
- ④ 情報モラルの育成を推進する実
践（三点）



助言者の大谷先生からは、提案のあったレポート一つ一つに対し、ICTを活用する場面への助言はもちろん、授業実践の方法論などについても丁寧な御指導、御助言をいただいた。なお、「父母と教師の教育を語る会（県教研）」には、次の二名が推薦された。

・愛宕小学校 高瀬 玲子 先生

「学習課題を達成する手立てとしての
プログラミング学習

特別支援学級（自・情）

国語科「ぶんをかこう」の実践を通して」
酒井 雄一 先生

・六ツ美北中学校 「体験を重視することで科学の有用性を実感し、
理科を主体的に学ぶ生徒の育成

中学校二年生理科生物分野
「行動のしくみ」の実践」

平成29年度

全国自作視聴覚教材コンクール

本市から出品した自作視聴覚教材三作品が
優秀賞、入選に輝きました。

【中学校部門】

●優秀賞

「化学変化によって取り出される金属

～私たちの生活を便利にするために～」

おかざき映像教材研究会D班

森綾子 服部将也 高瀬玲子 荻野悠
井上清美 山口秀樹 岡秀之



中学校二年生理科「いろいろな化学変化」の単元で活用できるビデオ教材である。普段何気なく接する鉄や銅などの金属を、自然からどのように取り出して使えるようにしたかが学べるように、「たたら」という日本独特の製鉄法で砂鉄から鉄の塊を作る実験映像を収録している。高温で熱せられる鉄の映像は圧巻である。

【小学校部門】

●入選

「すごいぞ！水道水！！」

おかざき映像教材研究会E班

中山美奈子 長谷川蒼幸 岩川皓司 中根良輔
原田庸平 白井浩太 加藤光 三輪恭之

小学校四年生社会科「住みよいくらしをつくる」の単元で活用できるマルチメディア教材である。「浄水場」（上水）と「浄化センター」（下水）のそれぞれの仕組みを、工程ごとにショートムービーで視聴することができる。

【社会教育部門】

●入選

「岡崎城

～新しい発見をもとに、歴史をたどる～」

おかざき映像教材研究会C班

鈴木広樹 成瀬正和 内田敏明 佐藤雄太
藤渕俊旭 鈴木彩水 村田貴志

昨年度、新たに発掘された菅生川端石垣を中心に取り上げている。この石垣は直線距離400mと国内最長であること、「横矢枳形」が三か所もある堅牢な石垣であること、この造りが江戸時代の他の城の手本となっていることなどを伝える教材である。

実践報告 II

三年社会科・学区への気付きを深める

井田小学校 鶴巻 司

三年生の社会科の学習、学区の地図づくりで、児童が撮影した画像を基にマルチメディア教材を制作した。そして、学区探検を振り返り、学区の大まかな姿を把握する学習において活用させた。

子供たちは、探検中にデジカメを各班で持ち、自分たちが気になった事物を撮影した。このとき、道沿いの商店や建物を意識して撮影できることがポイントとなる。初めのうちは、友達が写り込む写真が多かった。しかし、撮影のポイントを伝えることで、次第に交差点や車の交通量を意識して撮影できるようになった。子供自身が写真を撮ること、この交差点で車が多しんだな」と学区の新たな一面に気付くことにつながった。

次に、ホームページビルダーで制作された、マルチメディア教材「学区の様子」を用いて、振り返りの授業を行った。この教材は、交差点で右や左のマークが表示される。これをクリックすると画像が変わっていく。実際に歩いて見て回る感覚に近く、子供は容易に探検当日のことを思い出した。子供は画面を何度も確認し、建物の様子や道路の幅、交通量の違いなど、場所によって違いがあることを発見することができた。

子供に撮影のポイントを事前に指導したことで、探検で観察する視点をもたせることができ、充実した振り返りにつながったといえる。



II レッツ・トライ！ ICT II

今回紹介する機能 内部メールと外部メール

OKサインで利用できるメール機能には「内部メール」と「外部メール」の二種類がある。主に使うのは内部メールで、OKサイン使用者同士（市内教職員等）に向けて使用できる。外部メールで連絡することも可能だが、誤送信による情報流出を防ぐためにも、内部メールの使用が望ましい。

① 内部メール

OKサイン内部への連絡が可能。内部メールは、情報セキュリティ上、安全に文書のやり取りができる。コメントと呼ばれる返信が、ツリー状に一覧で表示される。送信先のメンバーに、一連のやり取りや投稿のまとまりを共有できるというメリットがある。

② 外部メール

内部メールが利用できない事業所や市外校などOKネット外のユーザーとの連絡に使う。保存できるメールの総容量が決まっているので、必要に応じて必要なメールの整理を行わなければならない。

内部メールと外部メールで手順は異なるが、どちらもMyグループを設定すると、いつでも同じメンバーに、一斉にメールを送信することができる。「視聴覚・情報教育の手引き」P 37以降の記述に沿って設定することをお勧めする。



(矢作北中学校 学習情報主任 加藤博樹)

ライブフリーだより

● デジタルカメラの紹介

視聴覚ライブフリーは平成29年度、デジタルカメラ（EX-S C 200）を購入しました。運動の様子をスローで撮影し、動きの確認を行う、タイムラプス撮影機能(*)を使って理科実験の観察や分析を行う、インターバル撮影で長時間の自然現象を記録するなど、授業で活用できます。

教材等予約システムには登録されていませんので、利用希望の際は、視聴覚ライブフリーまで直接御連絡ください。

● 第15回「ふるさと岡崎」

メディアコンクルの御案内、今年度も「ふるさと岡崎メディアコンクル」を開催します。子供たちの作品や先生方の自作教材など、ふるって御応募ください。

・ 募集期間

平成29年11月6日(月)～12月1日(金)

※巡回郵便や持参、郵送で受付。最終日消印有効。

・ 応募先

岡崎市視聴覚ライブフリー

・ テーマ

自由（生涯学習、学校教育に適した素材・内容で、応募者の自作であること）

※募集要項や応募用紙は視聴覚ライブフリーのHP (<http://www.oavt.jp/>) にあります。多くの方々からの御応募をお待ちしています。



(※)「これ知ってる!？」参照。